

ビーナネットChino



令和8年度の予算について、動画でも紹介しています。

令和8年度当初予算は、「暮らしの基盤を支え、希望を育てる予算 ~生活の土台をしっかり固め、未来への可能性を広げます~」を基本コンセプトとして編成しました。

総合的な医療の提供や地域医療を今後も力強く推進するために、諏訪中央病院組合への財政支援を強化するとともに、道路・橋梁・上下水道などの公共インフラの更新・長寿命化や自然災害への対策に重点的に予算を配分し、安全・安心な暮らしのためのまちの基盤を整備していくことを重要視しました。

また、未来への希望を創出することも重視し、子どもの医療費の窓口負担の無償化を実現するとともに（令和8年8月開始）、学校給食の負担軽減を行うなど、将来の茅野市を担う子どもたちへの積極的な投資を行います。

# 令和8年度の予算

一般会計 305億3000万円（対前年比4億6000万円（1.5%）の増）  
※公立諏訪東京理科大学交付税相当分及び借換債を除く実質的な予算  
284億400万円（対前年比7億9700万円（0.3%）の増）

全会計 449億6784万円（対前年比7億8604万円（1.8%）の増）  
※全会計… 一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、水道事業会計、下水道事業会計、財産区特別会計（45財産区）

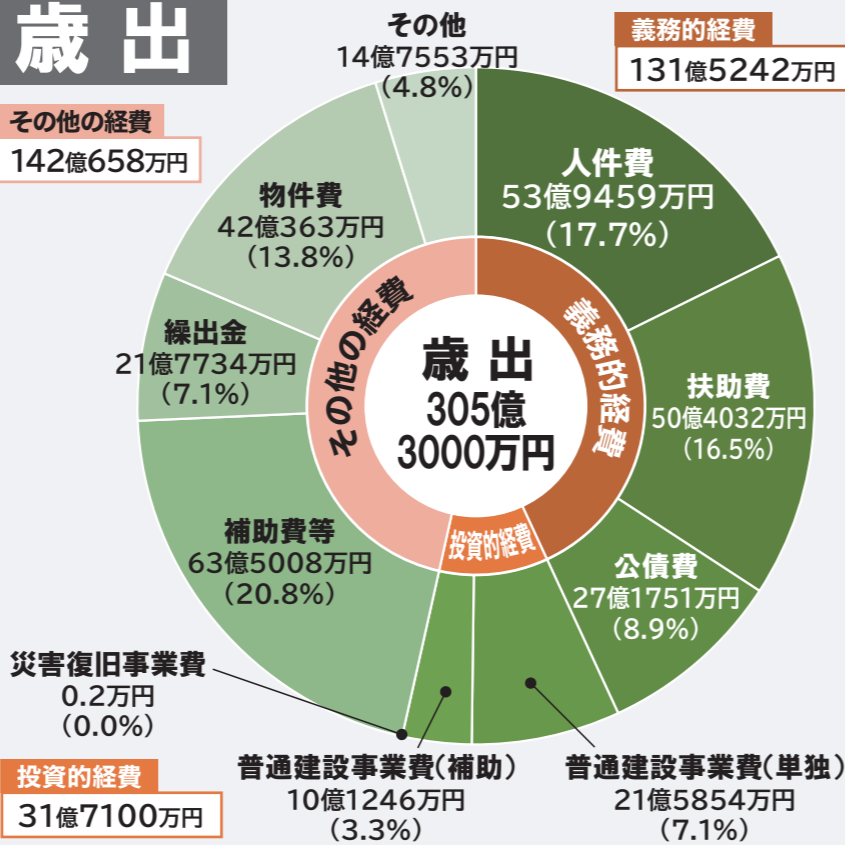
茅野市ホームページ

令和8年度予算の詳細や具体的な事業内容などは「茅野市予算概要」（市ホームページに掲載）をご覧ください。

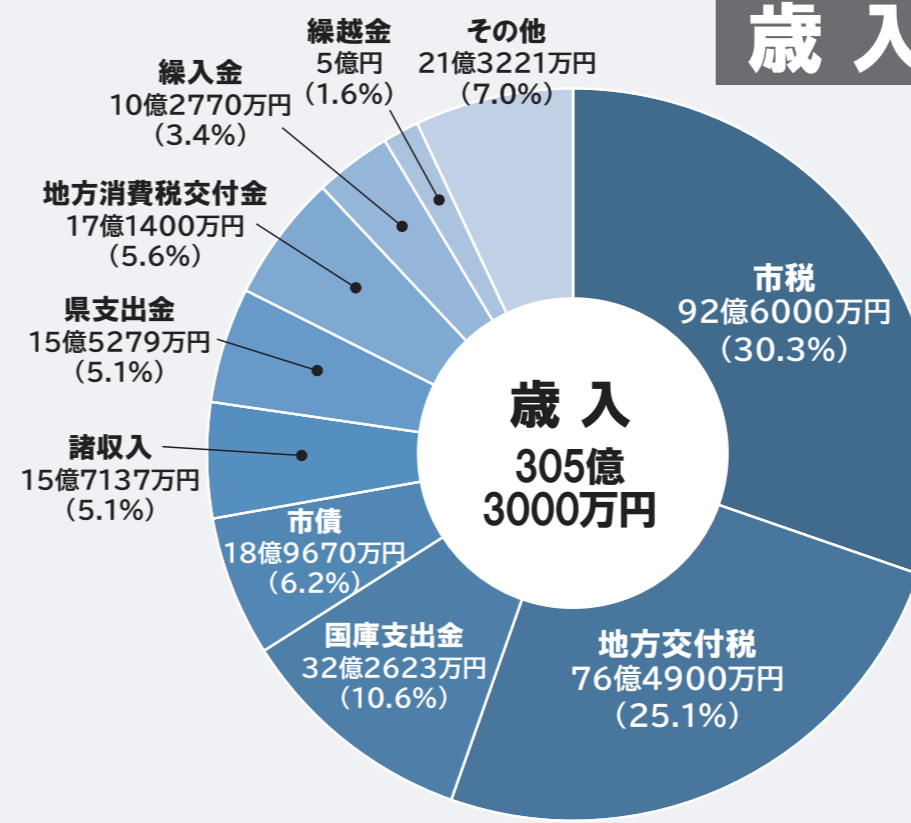
### 用語の説明

- 義務的経費**… 毎年必ず支出しなければならない経費
- 人件費… 特別職と一般職員に対する給料や報酬
- 扶助費… 高齢者、障害者、児童のための福祉サービスや生活保護、医療費など給付に係る経費
- 公債費… 市の借金である市債元金、利子の返済金
- 投資的経費**… 長期にわたり使用する社会資本整備に要する経費
- 普通建設事業費… 道路や学校、保育園など建設・改良に係る経費
- その他の経費**… 義務的経費、投資的経費以外の経費
- 補助費等… 一部事務組合や各種団体、個人などに支出する補助金や負担金
- 繰出金… 一般会計から特別会計へ支出する経費
- 物件費… 消費的な性質を持つ経費で、消耗品費や光熱水費、使用料、委託料などの経費
- その他… 公共施設などを維持するための維持補修費や貸付金など

## 歳出



## 歳入



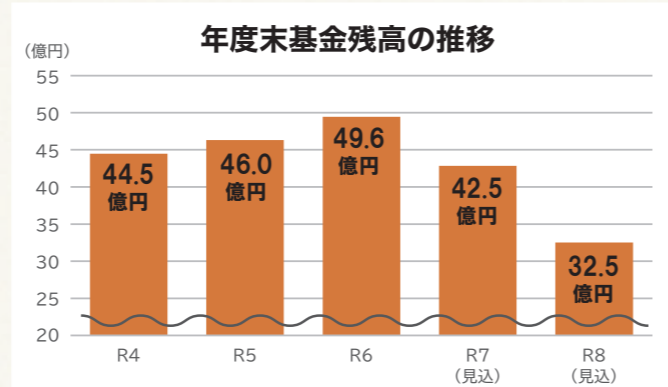
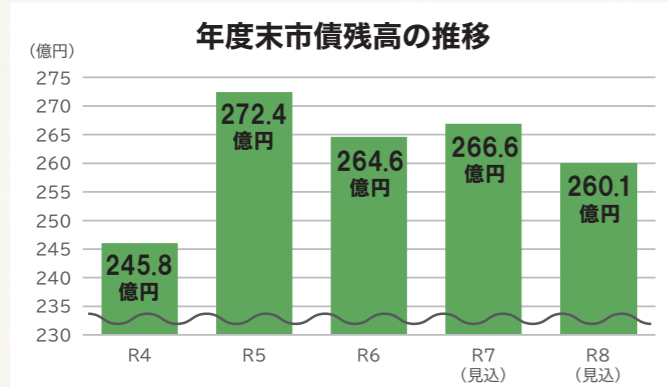
### 用語の説明

- 市税… 個人・法人市民税、固定資産税など市に納めていただく税金
- 地方交付税… 一定の行政サービス水準を保つため、国から交付される資金
- 国庫支出金… 特定の目的のために、国から交付されるお金
- 市債… 公共施設の整備などを行うために国や金融機関から借り入れる資金
- 諸収入… 講座受講料など、他の科目に分類されないお金
- 県支出金… 特定の目的のために、県から交付されるお金
- 地方消費税… 地方消費税収入を各都道府県、市町村間で按分し、交付されるお金
- 繰入金… 一般会計以外の会計や基金から繰り入れるお金
- 繰越金… 前年度から繰り越されるお金
- その他… 使用料及び手数料、寄附金、各種交付金等

## 一般会計の市債・基金の状況

市債は、永明小中学校建設関連事業の借入について償還が始まっていることから残高は減少しており、令和8年度末残高は約260億円の見込みとなっています。

基金は、予算編成において令和元年度から8年連続で財政調整基金を取り崩さざるを得ない状況となっています。今年度は、前年度よりも基金の繰入額が約2.9億円増加しており、依然として厳しい行財政運営が続くことが予想されます。



## 予算を家計に例えると…



令和8年度の一般会計予算を家計に置き換えてみました。市の予算と家計では、お金の使い道などが違うので、単純には比べられませんが、家計に置き換えると、次のようになります。市の予算も家計と同じように、将来までの支出の見通しをもって、収入を確保していくなど、収支のバランスをとっていくことが重要です。

《収入》	令和8年度	前年度との比較
給与	243,308円	7,703円
うち基本給(市税)	92,691円	1,600円
諸手当(地方交付税、国・県支出金など)	150,617円	6,103円
パート収入(使用料、手数料等)	33,325円	880円
貯金の取り崩し(基金繰入金) (※取り崩し前の貯金残高 42,534円)	9,981円	2,867円
銀行からの借入(市債)	18,986円	-6,850円
計	305,600円	4,600円

《支出》	令和8年度	前年度との比較
食費・医療費・光熱水費 (人件費・扶助費・物件費)	146,529円	6,923円
ローン返済(公債費)	27,202円	-3,794円
家の増改築など(投資的経費)	31,741円	-5,083円
家・車の修繕費(維持補修費)	2,858円	80円
保険料・各種会費など(補助費)	63,563円	5,793円
子どもへの仕送り(繰出金)	21,795円	423円
貯金(積立金)	1,011円	266円
その他の生活費	10,901円	-8円
計	305,600円	4,600円

# 令和8年度の主な施策

## 基本政策と取り組み

**1 安心して快適に暮らせるまち**  
 【保健・医療・福祉、都市基盤、防災、環境・衛生、公共交通、行政経営】

**2 心豊かに学び育ち活躍できるまち**  
 【子育て・教育、文化・芸術、生涯学習、人材育成、地域コミュニティ】

**3 活力と魅力があふれる稼げるまち**  
 【中心市街地活性化、産業振興、企業誘致、女性の活躍、移住・テレワーク】

**1 新地域公共交通事業の拡充**  
 事業費 1億6,223万円

AI乗合オンデマンド交通「のらぎあ」は予約が取りづらい状況が続いていましたが、令和7年10月から運行車両を2台増車(車イス対応車両)し、平日の予約不成立を大幅に解消しました。令和8年度からは土日祝日の運行台数を増やします。  
 また、蓼科湖方面へのバスを実証運行し、別荘地・観光地エリアへの移動手段について検証を行います。

**1 防災DX実証事業**  
 事業費 71万円

災害発生時の避難所受付業務の効率化等、防災DXの推進を目的に避難所マネジメントシステムを試験的に導入します。システムの導入により、避難所受付業務の効率化や避難者情報の正確な把握が可能となります。

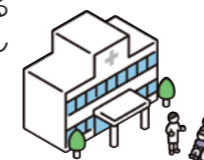


**1 福祉医療費給付金の支給**  
 事業費 5億3,710万円

子どもの医療費の窓口負担(500円)の無償化を行います。  
 また、県制度に合わせた制度とするため、制度の見直しを行い、市単独事業を整理するとともに、県が令和8年度から実施する精神障がい者の入院医療費の助成を開始します。  
 ※令和8年8月診療分から制度を切り替えます。

**1 諏訪中央病院組合への財政負担の強化**  
 事業費 10億927万円

全国的に公立病院の経営状況が悪化している中、地域医療の中核である諏訪中央病院、リバーサイドクリニック等の診療所、諏訪中央病院看護専門学校とやすらぎの丘の健全経営を図るため、管理運営に必要な経費に対する支援を拡充します。



**1 庁内システム次期環境構築**  
 事業費 2億1,800万円

自治体のネットワーク環境について、国は目指すべき2030年の姿として「ゼロトラストアーキテクチャ」というコンセプトを提示しています。(シンプルかつ柔軟なネットワーク、災害時のレジリエンス確保、セキュリティの強化と利便性の向上)  
 新しいデジタルツールが活用できるシステム環境を構築し、市民の皆さんにとって利便性の高い行政サービスが行えるように取り組んでいきます。

**1 雨水対策事業**  
 事業費 6,300万円

過去に浸水被害のあった上原区下町周辺の対策として、小江川への雨水の流入を減少させるための対策工事(5ヶ年計画)を実施します。また、浸水リスクや避難のきっかけとなる情報を発信するため、水位監視システムを設置します。



**1 庁舎改修事業**  
 事業費 1億7,782万円

庁舎建設以来、更新していない非常用自家発電設備を更新し、災害時などの非常時に備えます。  
 また、現行の電話システムを更新し、クラウド電話による電話システムを導入し、働く場所に縛られない職員の働き方改革を進めます。

**2 永明小中学校の建設、プール授業の民間委託**  
 事業費 7億1,075万円

永明小学校と永明中学校を、施設一体型で建替事業を進めてきましたが、令和8年度で全事業が完了となります。今年度は、アリーナ建設、せせらぎ水路整備、メイングラウンド整備等を行います。また、永明小中学校はプールを当面は建設しないこととしたため、水泳授業は他校に移動して実施しますが、一部の学年においては民間業者に委託して、民間プールにて水泳事業を行います。

**2 小学校の給食費の負担軽減**  
 事業費 1億4,746万円

令和8年度から創設される国の「給食費負担軽減交付金(仮称)」を活用し、小学校の給食費の保護者負担を大幅に軽減します。給食費の保護者負担は、令和7年度は年間で約6万円の負担でしたが、令和8年度は約14,000円になります。



**3 ふるさと納税による寄附の獲得**  
 事業費 3億4,138万円

ふるさと納税による寄附は、市の歳入となるだけでなく、返礼品の調達を通じて地域経済に寄与することから、積極的に寄附の受入れに取り組んでいきます。  
 令和8年度は、これまでの返礼品の宣伝PR等に加え、市内事業者に向けた返礼品開発のための補助制度を新設し、新たな返礼品の開発等を支援します。

**3 農業用水路等長寿命化・防災減災事業**  
 事業費 4,200万円

新田堰(北山地区)は施設の老朽化が進行していることと、近年度々発生する洪水により堰堤が欠損、護岸下部が洗堀されています。堰堤の倒壊や堰堤上流側の土砂吸出しによる陥没が発生し、取水が困難になることが懸念されることから、修繕工事を行い用水の安定供給及び施設の長寿命化を図ります。

**3 永明小中学校周辺整備**  
 事業費 1億2,404万円

国の補助金を活用し、永明小中学校の建て替えに合わせて、周辺道路等を整備します。  
 今年度は最終年度となり、市民館前から旧永明小学校グラウンドを抜ける道路を新設し、JR茅野駅前から塚原交差点までの道路が完成します。  
 また、市民館前交差点周辺の道路線形が変わることに伴い、茅野市民館第2駐車場を拡張するための測量設計を行います。

**3 長野県宿泊税の創設と活用**  
 事業費 3,528万円

長野県宿泊税が令和8年6月から始まります。徴収した税は長野県から各市町村へ配分されます。  
 令和8年度は諏訪地方観光連盟の令和10年に開催される御柱祭に向けた特別負担金と令和9年に実施される長野県デスティネーションキャンペーンの負担金に充当し、残額については今後の施設整備等に備えて基金へ積み立てます。

**3 首都圏の企業等との交流の促進事業**  
 事業費 2,698万円

首都圏の企業等が茅野市へ来訪するきっかけを創出するとともに、来訪された際に茅野市の企業や事業者とのマッチングに結びつける取組を展開します。  
 このことに併せて、地域の課題解決へのプロセスや地域の事業者が活躍する姿を全国メディアと連携し発信することで、茅野市の魅力を発信していきます。